

# 令和2年度事業計画書

一般財団法人岐阜県交通安全協会

# 目 次

第1	交通情勢	.....	1
第2	交通安全活動推進要領	.....	2
1	高齢者の交通事故防止		
2	子供の交通事故防止		
3	横断歩道における歩行者最優先の徹底		
4	飲酒運転の根絶		
5	シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底		
第3	交通安全対策事業	.....	4
1	交通安全運動等の推進		
2	交通安全大会等の実施		
3	交通安全広報・啓発活動の推進		
4	交通安全教室の開催		
5	関係機関・団体等との連携強化		
6	表彰		
第4	交通安全協力事業	.....	6
第5	受託事業	.....	7
第6	会議	.....	8

## 令和2年 交通安全年間スローガン

<運転者（同乗者を含む）向け>

スマホより 横断歩道の 僕を見て

<歩行者・自転車利用者向け>

夕暮れの 一番星は 反射材

<こども向け>

しっかりと 止まってかくにん 横だん歩道

# 第1 交通情勢

令和元年中の県内の交通事故による死者数は、84人と前年より7人減少した。これは、死者数が最も多かった昭和45年（317人）以降で2番目に少ない死者数となった。

## 死亡事故（81件、84人）の特徴

- 高齢者の死者が6割強  
高齢者の死者は53人（前年比－3人）で、全死者の63.1%（+1.6ポイント）を占めた。このうち歩行者は20人で、特に道路横断中が12人（横断歩道横断中が3人）と目立った。また、自動車乗車中の死者は、20人（運転者16人・同乗者4人）であった。
- 高齢運転者の事故が4割強  
原付以上の運転者が第1当事者となった事故が70件で、このうち高齢運転者が30件（前年比+3件）と42.9%を占め、特に昼間での事故が21件と目立った。
- 歩行中・自転車乗車中の死者が約5割  
歩行中（27人・前年比－2人）・自転車乗車中（13人・前年比+4人）の死者が40人で、全死者の47.6%を占めた。このうち歩行者は、道路横断中が17人（うち横断歩道横断中5人）で夜間の発生が目立ち、自転車は道路横断中が10人で、昼間の発生が目立った。また、歩行者・自転車が主たる原因となった事故が11件（歩行者3件・自転車8件）発生し、前年より6件増加した。
- 自動車乗車中の死者が4割強  
自動車乗車中の死者が35人（運転者29人・同乗者6人）で前年より6人減少したものの、全死者の41.7%を占めた。このうちシートベルト非着用者が13人（適用除外者1人除く）で、9人はシートベルトを着用していれば死亡には至らなかったと思われる。

### <月別死者数>

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
R 1	7	4	11	5	10	3	6	12	7	5	5	9
H30	11	7	6	4	7	9	7	5	5	7	10	13

### 《参考》

- 若年運転者事故は7件で全運転者事故の10.0%（前年6件・7.1%）
- 男性運転者事故は56件（前年60件）、女性運転者事故は14件（前年25件）
- 飲酒関係事故は5件（前年5件）
- 自動二輪乗車中の死者が4人（前年11人）
- 国道の事故は18件（前年25件）
- 車両単独事故は18件（前年26件）
- カーブ事故は20件（前年33件）

<岐阜県警察本部交通企画課【交通事故統計資料】参照>

## 第2 交通安全活動推進要領

県交通安全協会は、令和元年中の交通情勢を踏まえ「安全で快適な交通環境」を実現するため、本年の活動重点を

- ・ 高齢者の交通事故防止
- ・ 子供の交通事故防止
- ・ 横断歩道における歩行者最優先の徹底
- ・ 飲酒運転の根絶
- ・ シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

と定め、各地区協会と共同して効果的な交通安全活動を推進するとともに、岐阜県公安委員会から指定を受けた「交通安全活動推進センター」の機能を充実させ、警察をはじめ関係機関・団体と緊密に連携し、以下の諸対策を推進する。

### 1 高齢者の交通事故防止

推 進 要 領	推 進 内 容
(1) 家庭における交通安全意識の高揚	高齢者家庭の訪問指導を推進し、高齢者の交通事故防止について家族全員で話し合うなど、家庭における交通安全意識の高揚に努める。
(2) 交通安全教育・指導の推進	地域交通安全活動推進委員、高齢者交通安全指導員等の協力を得て、自転車シミュレータを活用した自転車安全運転体験出前講座、高齢者交通安全大学など参加・体験・実践型の交通教室を開催し、高齢者自らが交通安全活動を行うための教育を推進する。
(3) 高齢運転者対策の推進	ア シルバー・ドライビング・スクールをはじめ、自動車学校の一日開放による運転適性診断を実施し、加齢からくる身体的機能の変化を理解させるとともに、安全運転を実践するための知識・技能を指導する。 イ 高齢者講習制度の適正な運用を図り、運転免許更新時講習の充実に務める。 ウ 70歳以上の高齢運転者に対する高齢者マーク使用の促進を図る。

### 2 子供の交通事故防止

推 進 要 領	推 進 内 容
(1) 家庭における交通安全意識の高揚	日常生活の場において家族が交通安全について話し合う活動を促進し、家庭における交通安全意識の高揚に努める。
(2) 幼児交通安全クラブ、交通少年団活動の推進	ア 保育園、幼稚園において家族ぐるみの交通安全教室を開催し、 ・ 道路は右端を歩く ・ 道路の横断は左右の安全を確認する 等の基本的な交通ルールを体験型で理解させる。 イ 児童に対しては、交通少年団、スポーツ少年団等の団体の協力を得て交通安全教室を開催し、自転車の正しい乗り方をはじめ、信号機・道路標識の意味等の交通ルールを具体的事例に基づき体得させる。

(3) 道路環境の点検整備	生活道路における道路不法占用物件の排除や危険箇所の点検を実施し、安全な通学路の確保に努める。
---------------	--

### 3 横断歩道における歩行者最優先の徹底

推 進 要 領	推 進 内 容
(1) 運転者に対する横断歩行者等の保護のための通行方法の周知徹底	<p>ア 横断歩道や交差点付近では速度を落とすとともに、横断歩行者や横断しようとしている歩行者がいる場合は一時停止かつ歩行者の通行を妨げないなど、歩行者最優先を徹底する</p> <p>イ 前方に横断歩道があることを知らせる道路標示「◇（通称ダイヤモンド）」の周知徹底を図る。</p> <p>イ 子ども・高齢者、障がい者等を見かけたら、速度を控え、安全意識を持った運転をするよう指導する。</p>
(2) 歩行者に対する安全な通行方法の指導の強化	<p>ア 道路を横断する場合における横断歩道等の利用や横断前、横断中の安全確認の励行など、安全な横断方法について指導する。</p> <p>イ 参加・体験・実践型の交通安全教育を推進し、交通ルールやマナーを再確認させるとともに、自ら安全な行動ができるように指導する。</p>

### 4 飲酒運転の根絶

推 進 要 領	推 進 内 容
(1) 飲酒運転の根絶に向けた取り組みの強化	<p>ア 飲酒運転の危険性、悪質性、飲酒運転に起因する交通事故の悲惨さを訴え、規範意識の確立を図るなど、飲酒運転を根絶するための交通安全教育を推進するとともに、道路交通法の罰則及び行政処分について周知徹底する。</p> <p>イ 飲酒運転の危険性を体験させ、飲酒運転追放機運を醸成する参加・体験型の運転者教育を推進する。</p>
(2) 飲酒運転の根絶に向けた環境づくりの促進	ハンドルキーパー運動、乗り合わせキャンペーン、スリーチェックキャンペーンを推進し、家庭・地域・職場等が一体となり飲酒運転を許さない環境を整える。

### 5 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

推 進 要 領	推 進 内 容
(1) 後部座席を含む全席シートベルト及びチャイルドシート着用の徹底	交通事故の発生時における被害の防止と軽減を図るため、シートベルト、チャイルドシートの着用効果を理解させる広報啓発活動を計画的に推進し、100パーセント着用の徹底を呼びかける。
(2) チャイルドシートの正しい取付方法の指導	チャイルドシートの正しい取り付け方の広報を徹底し乳幼児を事故から守るのは、保護者の責任であることの意識の高揚を図る。

(3) シートベルト・チャイルドシート着用強調月間	6月と10月の「シートベルト・チャイルドシート着用強調月間」には、関係機関と連携して集中的な街頭指導と広報・啓発に努め、着用率の向上を図る。
---------------------------	--

### 第3 交通安全対策事業

岐阜県・県警察本部・県教育委員会・各地区交通安全協会その他関係機関・団体と連携して、次の事業を推進する。

#### 1 交通安全運動等の推進

運 動 名	実 施 期 間
春の全国交通安全運動	4月6日(月) ～ 4月15日(水)
夏の交通安全県民運動	7月11日(土) ～ 7月20日(月)
秋の全国交通安全運動	9月21日(月) ～ 9月30日(水)
年末の交通安全県民運動	12月11日(金) ～ 12月20日(日)
自転車の安全利用推進月間	5月
シートベルト・チャイルドシート着用強調月間	6月 10月
トワイライト・オン(早めのライト点灯)キャンペーン	9月21日 ～ 12月31日

#### 2 交通安全大会等の実施

名 称	推 進 内 容
岐阜県二輪車安全運転大会 5月31日	二輪運転者の規範意識と運転技能の向上を図り、二輪車の交通事故防止を目的に、県警察と共催で開催する。
岐阜県交通少年団自転車安全大会 7月12日	子供に、安全で正しい自転車の乗り方を理解させ、交通の規範意識を醸成するため、県警察と共催で開催する。 (全国大会は中止)
自動車交通事故防止大会 9月18日	秋の全国交通安全運動を盛り上げるため、自動車会議所と共催し、県下の地区交通安全協会並びに自動車関係機関・団体の関係者が参加して、交通安全思想の高揚を図る。
交通安全県民大会 9月24日	秋の全国交通安全運動の一環として、岐阜県交通安全対策協議会と共催し、交通安全活動に功労があった個人、学校、団体を表彰し、県民の交通安全意識の普及を図る。
身体障害者交通安全の集い 9月27日	身体障がい者に、ドライバーとしての交通規範と交通安全意識の高揚を図るため、三田洞自動車学校において岐阜県身体障害者福祉協会と共催で開催する。

### 3 交通安全広報・啓発活動の推進

名 称	推 進 内 容
機関紙の発行とホームページ新着情報の活用	各季の交通安全運動の活動方針や交通安全協会の活動状況等を登載した「交通安全ぎふ」を年4回発行するほか、交通情勢に応じた情報をホームページに随時掲載する。
年間活動重点に応じたチラシ・パンフレットの作成	「シートベルトの着用」、「飲酒運転の根絶」、「自転車の安全利用五則の遵守」等に関するチラシ・パンフレットを随時作成し、一般ドライバー、子供及び高齢者等に重点を指向した広報活動を展開する。
DVD、夜光反射材等交通安全啓発用品の活用	地域・職域における自主的な安全活動を促進するため、交通安全DVDを購入して学校・事業所等へ貸し出すほか、交通事故実態に即応した交通安全グッズを地区交通安全協会へ配付する。

### 4 交通安全教室の開催

推 進 事 項	推 進 内 容
年代別交通安全教室の開催	県協会傘下の自動車学校において、幼児、小・中学生、高校生及び高齢者など年齢に応じた交通安全教室、交通安全講話などを開催し、歩行者・自転車利用者及び高齢運転者の交通事故防止を図る。

### 5 関係機関・団体等との連携強化

#### (1) 地区交通安全協会

推 進 事 項	推 進 内 容
各季交通安全運動等の交通安全対策	各季の交通安全運動の実施重点、推進方策及び交通事故実態に応じた諸対策について連絡・調整を行う。
協会長等会議、事務長等会議の開催	地区交通安全協会の適正な運営と地域の実態に応じた交通安全対策を協議するために開催する。
事故多発緊急対策の支援	交通死亡事故多発地域警報等の発令時に、地区交通安全協会が実施する安全対策に対し緊急支援する。
自転車安全運転教育用資器材の整備	整備計画に基づき、山県・加茂・中津川・恵那地区交通安全協会にSの字・8の字走行マット及びジグザグ走行ピン等を整備する。

#### (2) 岐阜県交通安全対策協議会

推 進 事 項	推 進 内 容
各種交通安全活動の協働	各季の交通安全運動実施要綱の策定協議に参画するほか、夏及び年末の交通安全県民運動の周知を図るため、「こあんちゃん交通安全クイズ」を提供するなど広報啓発活動を推進する。

### 6 表彰

種 類	内 容
警察庁長官・全日本交通安全協会長表彰	交通栄誉章「緑十字金章」「緑十字銀章」 交通安全功労者 優良運転者

全日本交通安全協会 会長表彰	① 交通安全優良団体等 優良団体 優良学校 優良交通安全協会 ② 交通栄誉章「緑十字銅章」 交通安全功労者 優良運転者 ③ 感謝状 「緑十字金章・銀章」受賞者の配偶者
中部管区警察局長・ 中部交通安全協会協議 会長表彰	交通安全功労者 優良運転者 優良団体・協会等
岐阜県交通安全対策 協議会長（知事）表彰	① 功労者・団体・学校 交通安全功労者 優良団体 優良学校 ② 優良運転者 特別優秀章
岐阜県警察本部長・ 岐阜県交通安全協会会 長表彰	① 功労者・団体・学校 交通安全功労者 優良団体 優良学校 ② 優良運転者 県優秀章 県優良章 県模範章 ③ 交通死亡事故抑止功労 地区交通安全協会

## 第4 交通安全協力事業

初心運転者の育成及び自動車運転者の安全教育等の事業を実施する。

### 1 運転免許取得教習

事業目的	事業内容
初心運転者教習	新年度の入校者目標数を4,500人（普通約3,500人その他約1,000人）と設定し、初心運転者教育の充実と適正なサービスを提供する。

### 2 法定等受託講習

事業目的	事業内容
初心運転者講習 （三田洞・東濃校）	免許取得後1年未満の間に3点以上の違反をした者約100人に対し、運転技能及び知識の再教育を実施する。
原付講習	原付免許取得希望者約300人に対して、知識・実技講習を実施する。
取得時講習	中型・準中型・普通・二輪車免許の取得者約50人に対して、応急救護、危険予測等の講習を実施する。
違反者講習 （三田洞・多治見・高山校）	軽微な違反を繰り返し、累積点数が6点になった者約800人に対して、再教育を実施する。
取消処分者講習 （三田洞校）	取消処分を受けた者等で、運転免許再取得希望者約300人に対して、再取得に向けた再教育を実施する。



高齢者に対する法定講習	70歳以上の運転者に対し、高度化講習(約2,500人)・合理化講習(約12,000人)を実施する。
高齢者に対する交通安全講習	65歳以上の運転者、運転免許のない者約500人を対象としたシルバー・ドライビングスクール、シルバー・セーフティスクールなど参加型、体験型の交通安全講習を積極的に開催して、高齢者の交通事故防止を図る。
企業等の職員等に対する講習	企業等の職員に対する安全運転講習として、運転適性検査、シミュレータ検査、運転技能検査、危険予測、法令知識等について講習を実施する。

## 第5 受託事業

### 1 警察本部からの受託事業

事業目的	事業内容
運転者更新時講習	本年度の運転免許証更新予定者約 263,000人に対し、岐阜、西濃、中濃、多治見、東濃及び飛騨の6センターにおいて、運転者の態様に応じ「優良・一般・違反・初回」に区分した講習を行う。
停止処分者講習	交通事故や交通法令違反等により、運転免許の停止処分を受けた運転者約 3,229人に対し、岐阜センターにおいて、安全運転講習を実施し、運転者の危険性の改善を図る。 講習では、運転免許停止処分日数に応じて短期・中期・長期に区分し、各種交通安全教材を活用した講義、運転適性診断によるカウンセリング、実車及び模擬運転装置等を活用した効果的な講習に努める。
更新情報提供業務	運転免許証の更新予定者 348,400人に対して「更新連絡書」により、日時、場所、講習区分、携行品等を通知し、更新事務の円滑化とサービスに努める。
免許端末オペレータ業務	運転免許証の更新、新規免許、記載事項の変更等電算システムの運用に必要な資料を入力する業務の、適正な実施に努める。
運転免許証複写業務	運転免許証更新時に、免許証の内容を申請書に複写する業務を行い、更新事務の円滑化とサービスに努める。
道路使用許可調査業務	ア 関係機関・団体と連携して、車両の駐車、交通規制、道路使用等について広報・啓発を行い、道路使用の適正化を図る。 イ 警察署長の委託を受けて、道路使用に係る調査及び確認等の業務を行い道路環境の整備に努める。

## 2 岐阜県からの受託事業

事業目的	事業内容
自転車安全運転体験 出前講座運営業務	「自転車シミュレータ」による自転車運転体験を通して 道路の安全な走行を学ぶ出前講座を適正に運営する。

## 3 地区交通安全協会からの受託事業

事業目的	事業内容
協力金収納業務	地区交通安全協会長との委託契約に基づき、更新時講習 者等から提供される交通安全協力金の収納業務を各講習セ ンター及び岐阜運転免許試験場において行う。

# 第6 会 議

協会の運営・活動方針等を検討するため、次のとおり会議を開催する。

## 1 理事会・評議員会開催計画

### (1) 理事会

- ア 第1回通常理事会 6月8日(月)
- イ 第2回通常理事会 翌年3月(下旬)
- ウ 臨時理事会 6月23日(火)

### (2) 評議員会開催計画

- 定時評議員会 6月23日(火)

## 2 地区交通安全協会長等会議

11月13日(金)

## 3 地区交通安全協会事務長・書記会議

- (1) 第1回会議 5月9日(土)
- (2) 第2回会議 10月10日(土)

## 4 地域交通安全活動推進委員会

総会及び研修会 6月(下旬)